

# Our Philosophy

## こだわって、こだわって、こだわって創ったシルバーカー

### Made in JAPAN の矜持、 私たちの「質」へのこだわり。

私たちが生産するほとんどの商品はメイド・イン・ジャパン。パーツの組み立てから、最終のライン組み立てまでの一貫生産を業界唯一自社工場で行なっています。本社工場はシルバーカー製造のSG(製品安全基準)認定工場の登録を受け、さらにISO9001も取得し日々その維持管理と製品の品質管理の向上に努めています。



海外生産が当たり前の時代、コストや生産性だけ見れば、それはある意味非効率なのかもしれません。しかしメイド・イン・ジャパンだからこそ成し得るクオリティがあることを私たちは信じ大切にしています。事実、自社で生産するシルバーカーは海外製品に比べ、耐久性あるいは均一性に優れています。細部の仕上げにも日本ならではの感性が息づいています。稀に不具合で修理を依頼されることも無くはありません。が、ここでも自社工場を有する優位性を発揮します。もちろん修理を即実行することは言うまでもありません。さらに、専任担当者が組み立て工程や部品の強度に問題はなかったかなど、自ら原因を究明・検証し、次代の製品開発の糧にしています。ジャパングオリティを提供し続ける私たちのシルバーカー。一步でも多く1秒でも長く、お年寄りの豊かな人生に寄り添いたいという想いを胸に、これからもメイド・イン・ジャパンにこだわり続けます。

### 恥ずかしいなんて言わせない。 機能とファッション性を追求。

TPOに合わせて洋服を着替えるように、着るものやシーンに合わせてバッグをチョイスするように、シルバーカーもそういう意味では紛れもなくファッションの一部だと私たちは考えています。シルバーカーは、おもにご高齢の方がご利用な商品。中でも女性はいくつになってもおしゃれしたいもの。だからこそ私たちは、機能性はもちろん可愛くおしゃれでカラフルな、ついお出かけしたくなるようなデザインを心がけカタチにしています。実はつい10数年ほど前までは「お年寄り＝地味」という先入観があるせいか、備え付けのバッグも地味で暗い色のものが大半でした。そこで「いくつになっても気持ちも体もアクティブでいてほしい」という願いを込めてアニマル柄や花柄、ピンクやブルーといった今までにない商品を作りお届けするようになったわけです。おかげさまで、多くの方に好評をいただき名誉にも『グッドデザイン賞』を1999年2000年と連続受賞。今では、カラーフレームやカラーホイールも採用し、バッグとのコーディネートも楽しめる、よりファッションブルなラインが増えています。



「シルバーカーもファッション」と言われる時代になりました。これからも私たちは、おしゃれなお年寄りにご満足いただける素敵なお品をお届けしていきます。

### 技術とノウハウ— 積み重ねた 時間は、私たちの価値です。

明治・大正と人力車のクッションとなる板バネを作っていた創業者。当時、自動車の台頭や交通インフラの整備で人力車が衰退すると見るや、鍛冶屋の技術を生かし乳母車の製造に着手。1930年(昭和5年)、本格的に乳母車メーカーとして現在の礎となる会社をスタートさせました。以来、戦前戦後の動乱期、高度成長期からオイルショックやバブル期の盛衰を経た激動の昭和を乗り越え平成の今に至っています。



もちろん紆余曲折はいく度となく経験してきました。しかしこの歴史の中で、私たちが培った技術やノウハウの蓄積は計り知れません。もっとコンパクトに、もっと軽く、もっと強く、もっと便利に、もっとおしゃれに…。そこには長い時間を積み重ねてきた「私たちだからこそできること。私たちにしかできないこと」がまだまだたくさんあります。さらに今後益々拡大する高齢化社会を迎え、私たちが担う責任はより重たくなると実感しています。「東京オリンピックを生で観てみたい」「もう一度、家族で温泉に行ってみよう」「デパートでウィンドウショッピングを楽しみたい」そんなお年寄りのささやかな夢や希望を、シルバーカーを通じて叶えさせてあげたい。私たちは心からそう願い、創業100年に向けて、新たな時を積み重ねています。